

カリキュラム・ツリー <理学療法学コース>

■5つのディプロマ・ポリシー <理学療法学コース>

- 1 理学療法士が備えるべき専門的知識・技術・態度を修得することで、患者および家族の生活の質の向上を目指し、身体機能の改善とそれに伴う動作の獲得に焦点を当てた支援ができる。
- 2 多職種連携で専門性を発揮し、地域生活における患者の主体的な生活を支援することができる。
- 3 深い洞察力とコミュニケーション技能を修得することで、患者および家族と信頼関係を築き、人の尊厳と倫理観に基づいた支援ができる。
- 4 論理的思考力と客観的判断力を修得することで、柔軟な発想で科学的探究に真摯に取り組み、理学療法の発展に寄与する活動や研究に主体的に従事することができる。
- 5 地域・国際社会の動向を把握する能力、保健・医療・福祉の地域課題を探究する能力を修得することで、国際的な視野に基づく自己研鑽を継続することができる。

【専門基礎科目】

- ・保健医療福祉論 1 2
- ・国際リハビリテーション論

【専門科目】

- ・卒業研究 2 4
- ・次世代健康支援論
- ・スポーツ傷害理学療法学(演習含む)

【臨床実習】

- ・臨床実習Ⅳ(総合2) 1 2 3 4 5
- ・臨床実習Ⅴ(地域)

4年

- ・医療統計学Ⅱ 2 3 4 5
- ・デジタルヘルスケア論
- ・理学療法研究法
- ・リハビリテーション管理学
- ・臨床技能演習
- ・物理療法学(演習含む)
- ・運動期障害理学療法学(演習含む)
- ・神経障害理学療法学(演習含む)
- ・内部障害理学療法学(演習含む)
- ・小児理学療法学(演習含む)
- ・日常生活動作学(演習含む)
- ・急性期理学療法学(演習含む)
- ・高齢者理学療法学(演習含む)
- ・地域理学療法学
- ・生活環境論(演習含む)

- ・臨床実習Ⅱ(評価) 1 2 3 4 5
- ・臨床実習Ⅲ(総合1)

3年

- ・内科学 1 3 5
- ・病理学
- ・脳神経科学
- ・整形外科学
- ・小児科学
- ・精神医学
- ・感覚器学
- ・救命救急学
- ・臨床薬理学
- ・臨床栄養学
- ・画像評価学
- ・公衆衛生学
- ・臨床コミュニケーション論
- ・IPW論
- ・生理学Ⅱ
- ・生理学実習
- ・運動学実習

- ・基礎理学療法学セミナーⅡ 2 4
- ・医療統計学Ⅰ
- ・理学療法概論
- ・理学療法評価学Ⅰ
- ・理学療法評価学Ⅱ
- ・体表解剖学
- ・運動療法学総論
- ・義肢装具学(演習含む)
- ・リハビリテーション工学(演習含む)

2年

【教養教育科目】

- ・一般教育科目 1 2 4 5
- ・語学科目
- ・情報科目
- ・健康・スポーツ科学
- ・基礎科目

- ・解剖学Ⅰ 1
- ・解剖学Ⅱ
- ・生理学Ⅰ
- ・運動学
- ・人間発達学
- ・ヘルスプロモーション
- ・リハビリテーション概論
- ・社会医療論

- ・基礎理学療法学セミナーⅠ 4

- ・臨床実習Ⅰ(見学) 3

1年